

平成 29 年 3 月 17 日

鎌倉市長 松尾 崇 様

鎌倉市地域拠点校選定委員会
委員長 志村 直愛

地域拠点校の選定について（提言）

当委員会は、各行政地域内に 1 校設置していく地域拠点校の選定に関する提言を行うことを目的に、鎌倉市地域拠点校選定委員会条例に基づき、市長から委嘱を受けた委員それぞれが、専門的な知識やこれまでの鎌倉での教育公共的な活動等を通じた視野に立ち、昨年 8 月開催の第 1 回から、玉縄地域での小中学校及び関連公共施設の現地視察、先進的な複合化校の現地視察などを行いつつ、これまでの委員会において、慎重に議論を重ねてきました。

こうした経緯を経て、当委員会は、別添「地域拠点校選定の考え方（提言）」のとおり、定量的な評価を中心に絞込みを行い、優先的に検討していく学校を選定し、今後は、地域住民の方などの意見を踏まえながら地域拠点校の整備を進めるよう提言します。

市長におかれては、この地域拠点校選定の考え方のもと、公共施設の集約・複合化を創意工夫により進め、学校教育環境の維持向上や安全性等に配慮した上で、地域コミュニティの核となる多世代交流機能を持った地域拠点校整備を実現し、次の世代に引き継ぐ公共施設への再編に向け、努力されるよう期待するものです。

なお、当委員会からは、地域拠点校整備に当たって、学校等の公共施設の老朽化の状況、学区の見直しや統廃合の動向を見据え、市民、特に地域住民への積極的な情報提供を行いながら、事前周知に努めつつ、学校、保護者、地域住民、施設利用者などの意見を踏まえ、取組を進められるよう要望いたします。